



中央アルプス千畳敷で撮影した星の日周運動

現地に取材したリアルな画像の数々

郷土館ミュージズの天体観望会で20年以上講師を務める細谷正夫氏は、当地域での天体観測はもちろん、国内外の景勝地に赴き、専門の地質学の知識を活かして、季節や時刻、気象条件等のタイミングを見計らいながら、数々の貴重な画像をカメラにおさめました。この度「ネイチャーフォト展～ミュージズ天体講師が撮った宇宙と大地～」では、選りすぐりの作品を鉱物コレクションや関連資料とともに紹介します。

感染症対策のための自粛生活や行動制限が続いた現在だからこそ、はるかな星空や雄大な自然の1カットに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



彩雲



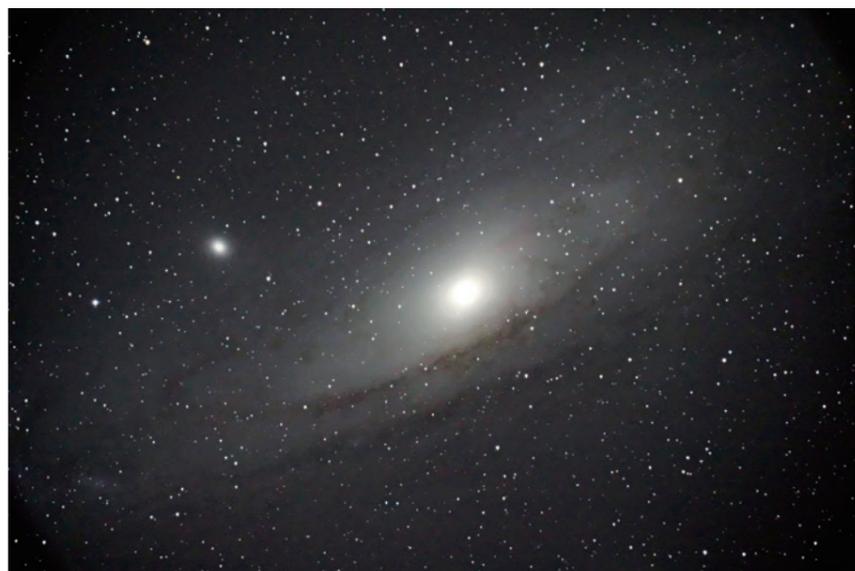
会期中ロビーにて解説動画を上映

土日祝日等に天体講師によるギャラリートークを予定しています。

詳細につきましては、市HPをご覧ください。



[上]ウルル(オーストラリア)
[左]八幡平(秋田県)、[右]ホースシューベンド(アメリカ)



アンドロメダ銀河



ご来館に際しては、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願い致します。また、状況によっては休館等となる場合がありますので、最新情報はホームページをご確認ください。

ミュージズ天体講師が撮った宇宙と大地

ネイチャーフォト展



令和3年 12月11日(土)
▶ 令和4年 2月13日(日)

【開館時間】平日 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～17:00 【入館料】無料
【休館日】月曜日(祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始休館(12/28～1/4)

坂東郷土館ミュージズ



坂東市立資料館 〒306-0502 茨城県坂東市山2726
TEL 0280-88-8700・0297-44-0055
最新の情報はホームページをご覧ください

「月面X」「坂東郷土館ミュージズ天体ドーム」 撮影：細谷正夫



細谷 正夫 氏プロフィール

〈専門〉地質学
〈所属学会〉日本地質学会
日本地球惑星科学連合
〈経歴〉県立高校教員(地学)
茨城県自然博物館学芸主事・学芸嘱託
茨城県自然博物館ボランティア
〈関係団体〉
茨城県高等学校文化連盟自然科学部顧問
坂東郷土館ミュージズ天体観望講師
茨城県おもしろ理科先生講師
地球レーベルスタッフ(つくば市)

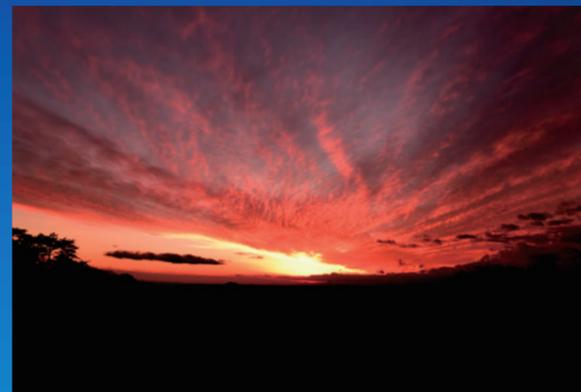
1. 星空への招待



天の川中心部
いて座からさそり座の方向に天の川銀河の中心がある。

ネイチャーフォト展 ミューズ天体講師が撮った宇宙と大地 そら

2. 天空の色彩

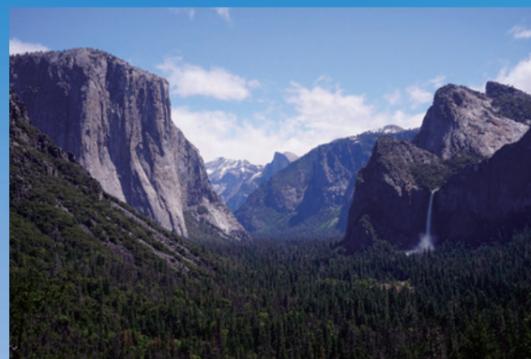


坂東市の夕暮れ
きれいな夕焼けが見られるとしばらく良い天気が続く。



かなとこ雲
かなとこ(金床)は鍛冶や金属加工の作業台のこと。

4. 地球を歩く



ヨセメテ国立公園
花崗岩の大地を氷河が侵食した巨大なU字谷。

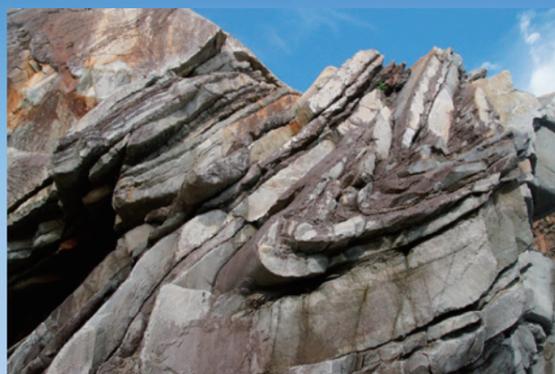


アイガー北壁と登山鉄道
終点のユングフラウヨッホ駅はトップオブヨーロッパと呼ばれる。



大雪山
神々が遊ぶ庭。北鎮岳の残雪がいろいろな動物の姿に見える。

3. 大地の造形



フェニックス褶曲
天鳥(あまどり)海岸にあることからその名が付けられた。(和歌山県)

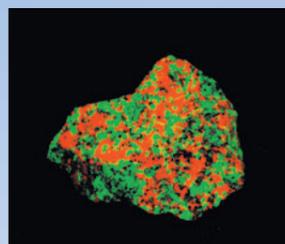


龍門の滝と烏山線〈第11回惑星地球フォトコンテスト：ジオ鉄賞受賞〉
那珂川支流の江川にかかる高さ12mの滝。凝灰岩と凝灰角礫岩の互層からなる滝の上を走る列車は蓄電池駆動電車「ACCUM (ｱｸｸﾑ)」。「日本地質学会 News2021年1月号」の表紙を飾った。



珪亜鉛鉱
(フランクリン鉱山)
左：自然光
右：紫外線による蛍光(緑色)

暗闇で光る! 蛍光鉱物



茨城県第1号の隕石★ 神大実隕石



(複製展示・個人蔵)

大正の初めころ茨城県猿島郡神大実村大口(現在の坂東市大口)の嶋村家の田に落下したもの。約60年後、国立科学博物館での鑑定により、県内第1号、国内では31番目の隕石として認定されました。

郷土館ミュージズの天体観望 ～星空の世界を覗いてみませんか～

坂東郷土館ミュージズのランドマークにもなっている天体観測ドームは、20cmクーデ式天体望遠鏡を備えており、天体講座(月1回程度開催、要申込)や太陽観望(土・日・祝日随時)を行っています。



星空を見上げる細谷正夫先生(中央)



解説する講師の岡村典夫先生(右)